

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への公衆衛生的・社会的対策の実践と調整に関する検討事項

暫定ガイダンス

2023年3月30日 改訂版 キーポイント抜粋

原文（英語）：

Considerations for implementing and adjusting public health and social measures in the context of COVID-19

Interim guidance

30 March 2023

<https://www.who.int/publications/i/item/who-2019-ncov-adjusting-ph-measures-2023.1>

キーポイント

- SARS-CoV-2 の蔓延を抑制し、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入院と死亡を減らす上で、公衆衛生と社会的対策（PHSM）が重要であることが実証された。
- COVID-19 に対する PHSM の主な目的は以下の通りである。
 - SARS-CoV-2 の感染、COVID-19 の症例、COVID-19 罹患後症状、変異体の出現のリスクを低減する。
 - COVID-19 罹患と死亡率を減らす。
 - 健康システムへの影響を減らす。

PHSM は、SARS-CoV-2 の蔓延を抑えつつ、社会をオープンな状態に保つために、政府と地域社会が活用すべき重要な介入策である。PHSM は、COVID-19 が保健システムに大きな影響を及ぼしているとき、あるいは「優先すべき状況」、例えば懸念される新型変異株の流行初期に、その影響が適切に評価されるまでの予防措置として、拡充されるべきである。

- PHSM を調整する際の基本原則は以下の通りである。
 - PHSM の導入、適応、解除の決定は、これらの措置が社会と個人の一般的福祉に及ぼす影響も考慮しなければならない。
 - PHSM が調整される場合、変更がなされる前に、コミュニティに十分な相談と関与がなされるべきである。
 - PHSM の拡大は、常に、社会福祉の他の決定要因に及ぼすリスクと結果に見合った、比例したものでなければならない。

- この中間ガイダンスでは、**SARS-CoV-2** の伝播性、**COVID-19** の罹患率と死亡率への影響、医療システムへの影響を測定するための動的指標が提供されている。指標は指標であり、現地の状況に合わせて調整する必要がある。指標は、少なくとも 2 週間ごとに定期的に評価し、状況の最新評価を行い、その時点で最も適切な対策を講じることができるようにする必要がある。
- 共存する病原体（特にインフルエンザや呼吸器合胞体ウイルス [**RSV**] などの呼吸器系ウイルス）は、多くの指標を高め、全体的な状況レベルを上げる原因となる。ここで推奨する **PHSM** は、これらの病原体の制御にも役立つ。

WHO は、この暫定ガイダンスに影響を与える可能性があるあらゆる変化に対し、状況の監視を注意深く継続する。変化が生じた場合、WHO は更新版を発表する。そうでない場合、この暫定ガイダンスは発行日から 2 年をもって失効とする。

© World Health Organization 2021. Some rights reserved. This work is available under the [CC BY-NC-SA 3.0 IGO](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/) licence.

WHO reference number: WHO/2019-nCoV/Adjusting_PH_measures/2023.1